まちのわだい

本番さながらの訓練

防災学校そなえ～1日体験入学編～　11月～2月

1／被害を想定し避難する役、受け入れる役にわかれ実践形式で訓練　2／熱く議論を交わす参加者　3／災害を想定し、非常食を分け合い昼食　4／東日本大震災で大きな被害を受けた当時の様子を語る南三陸町観光協会の及川和人事務局長（中央）　5／活発な意見が交わされた振り返り

２月26日、実践的な避難所運営シュミレーションのワークショップが中央市民センターで行われ、自主防災組織や防災士など47人が参加しました。

一般社団法人南三陸町観光協会が、東日本大震災で大きな被害を受けた経験を基に説明。参加者は班に分かれ、避難所の受け付けや人の誘導をしました。アドバイスを受け、お互いの意見を出し合いながら実戦さながらの避難所設営訓練を行い防災の意識を高めました。防災士の資格を持つ中長内自主防災会の和野明彦さんは「久慈より被害が大きかった南三陸町から直接話を聞くというのは貴重。避難所設営がこれほど難しいとは思いませんでした」と表情を引き締めました。

思いをつなぐ伝統

漁撈唄伝承活動　2月28日

みんなで動きを合わせ堂々と発表

小袖小学校の４～６年生が地域の人を招き、小袖漁撈唄の発表会を実施。児童らは、過去に卒業生が出演した海女フェスティバルの動画を見ながら練習を重ねてきました。６年生の山下千笑さんは「郷土芸能を絶やさぬよう、つないでいきたいです」と表情を引き締めました。

気を引き締めて練習

令和４年度久慈柔道強化錬成会　2月25～26日

県代表の有段者の胸を借り練習

中学生以上の柔道競技者や指導者を対象に、久慈柔道強化錬成会を３年振りに開催。県柔道連盟の有段者６人が実技指導を行いました。初めて参加した侍浜中学校２年の大坪宋輔さんは「今日学んだ苦手としている組手を次に生かせるよう練習を重ねていきます」と語りました。

ニュースポーツ体験会

ねんりん講座で「カローリング」　3月7日

ポイントゾーン目掛けコントロールもグッド！　です

市内各地の老人クラブ会員など48人が、市総合福祉センターに集結しニュースポーツを体験。底面に車輪がついたストーンをポイントゾーン目掛けて押し出すカローリングの、技能と頭脳プレーに会場は大はしゃぎ。参加者同士の交流も深め、楽しい一日となりました。（梅沢）

みんなで応援『さかなのこ』

アンバーホール友の会 Presents 映画上映会　3月11日

貴重な衣装やパネルを展示

さかなクンの自伝的エッセイが原作の映画さかなのこが、アンバーホールで上映。映画で使った衣装や小道具が展示され、のんさんへのメッセージを書く人でにぎわいました。上映前にさかなクンとのんさんからメッセージが寄せられ、会場は笑顔に包まれました。（大石）

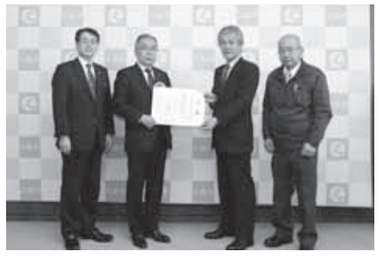
広報担当やリポーターが、皆さんのところにおじゃまします。
地域の行事など、身近な情報をお寄せください。
問地域づくり振興課　広報くじ担当　☎52-2116　FAX52-3653

梅沢　政隆
リポーター

大久保勝男
リポーター

ＬＥＤ防犯灯の寄贈

ＬＥＤ防犯灯贈呈式　2月22日



感謝状を掲げる渡辺社長（中央右）と米沢副社長（右）

高畑電機㈱が、市へＬＥＤ防犯灯10灯と取付工事一式を寄贈しました。平成30年から５年連続で寄贈したもので、令和４年度は宇部町小袖地区などに10灯を設置しました。渡辺彦之代表取締役社長は「歩行者の安全確保など防犯に役立ててほしい」と設置への思いを述べました。

市民市場で活動紹介

地域おこし協力隊が市民市場創業祭に出店 3月17～18日

親子でにぎわう市民市場

久慈市民市場で、地域おこし協力隊やＯＧが飲食の販売や自画像デッサンの展示、無料アロマ体験などのイベントを初めて開催し、市場を盛り上げました。買い物に訪れた角谷シゲ子さんは「若い人のイベントは人も集まり活気が出るので続けてほしいです」と語りました。

地域の産業を知る

小久慈未来塾　3月４日

琥珀の魅力を語る新田代表取締役

久慈琥珀㈱の新田久男代表取締役社長を講師に迎え、小久慈未来塾を開催。新田社長は、琥珀の歴史や恐竜の化石などを解説。宝石ジェットが国内では久慈のみ採掘できることも例に挙げ、小久慈の地層は世界的に見ても貴重であり、奇跡の土地であることを力強く訴えました。

権利や制度を学ぶ

障がい理解講演会・権利擁護セミナー　2月25日

自身の経験を交えわかりやすく説明

障がいのある子の「親なきあと」～お金と暮らしの制度と仕組み～が開催され、約180人が参加。知的障がいを持つ子の子育て経験を持つ講師の渡部伸さんが、将来のために使われるお金の仕組みを準備することや孤立せず社会とのつながりをもつことの大切さを語りました。

恐竜でまちづくり

太古ロマンのまちづくり講演会　2月20日

勝山市の取り組みをわかりやすく説明

多数の恐竜化石が発見され、市全体でまちづくりに取り組んでいる福井県勝山市から取り組みを学ぶ講演会が市内催事場で開催され59人が参加。恐竜を核としたまちづくりの推進や地域産品など産業観光の顧客ニーズを理解し販売するなど地域資源の活用方法を学びました。

子どもたちに笑顔を届ける

小鳥の巣箱を取り付け　3月４日

巣箱の取り付けを子どもたちも見守ります

小久慈保育園、園庭の桜の木に幸町の清水川幸男さんが小鳥の巣箱を３個取り付けました。小鳥がひなを育てるのを見て、子どもたちが笑顔になり楽しんでもらいたいとの思いを込め取り付け。巣箱は工夫を重ね外敵のカラスなどに襲われにくい作りになっています。（大久保）

小渡　正利
リポーター

大石　純夫
リポーター